メッセージ　3

雅歌の第三段階――召されて、復活の中の新創造として、昇天の中で生きる

聖書：雅 3:6―5:1

Ⅰ．キリストを愛する者は、彼女の経験の第三段階において、召されて、復活の中の新創造として、昇天の中で生き、美しくされた、キリストを愛する者となります――雅 3:6―5:1。

Ⅱ．「わが花嫁よ、わたしと一緒にレバノンから、わたしと一緒にレバノンから来なさい。アマナの頂から、セニルとヘルモンの頂から、獅子の洞穴、豹の山から見なさい」――雅 4:8：

A．キリストは、彼を愛する者を召して彼の十字架にとどまらせたように、彼女を召して彼の昇天の中で彼と共に生きさせます――雅 2:14：

1．キリストは、彼の花嫁としての彼を愛する者に、彼の昇天（レバノン）から、すなわち真理（アマナ）の最高峰とキリストの戦いにおける勝利の最高峰（セニルは「柔らかい武具」を意味し、ヘルモンは「破壊」を意味する）から、また敵どもがいる天上の場所（獅子の洞穴と豹の山）から、彼と共に見るようにと求めます。

2．キリストを愛する者が昇天の中で生きているとき、彼女とキリストは一つの状態、すなわち昇天の状態の中で生きて、夫婦となります。両者は命と性質において同じであり、互いに完全に符合しています。

B．昇天の中で生きるとは、絶えずわたしたちの霊の中で生きることです。わたしたちはわたしたちの霊の中で生きるとき、天上の昇天したキリストに結び付けられます――エペソ 2:22．創 28:12-17．ヨハネ 1:51．啓 4:1-2．ヘブル 4:12，16。

C．わたしたちは、いと高き方の隠れ場、すなわち昇天したキリストの中に隠れ、彼をわたしたちの住まいとすることを学ばなければなりません――詩 91:1，14-16．参照、雅 2:14：

1．神をわたしたちの永遠の住まいとすることは、神に対する最高の経験、最も満ち満ちた経験です――詩 90:1-2。

2．わたしたちは神をわたしたちの住まいとするなら、地上でのわたしたちの人生がつかの間であり、罪と苦難に満ちていることを認識します――3-12 節。

3．神の外側には罪と苦難があるので、わたしたちは時々刻々、神の中に住み、彼の中で生きる必要があります――8 節．ヨハネ 16:33。

4．わたしたちは、神の住まいであるわたしたちの霊の中に住むことによって、神の中に住みます。わたしたちの霊の中で、また召会の中で、わたしたちは彼の美しさを見つめ、彼の美しさを注入されて、美しくされた新創造となることができます――エペソ 2:22．ローマ 8:6．詩 27:4．イザヤ 60:7 後半，19 後半．62:3．雅 3:11．箴 12:4 前半。

Ⅲ．「ソロモン王は、レバノンの木で自分のために輿を造った。その支柱は銀、基は金、その座席は紫色の布で造った．その中に、『エルサレムの娘たちから愛を込めて』と縫い取りされていた」――雅 3:9-10：

A．わたしたちの中でのその霊の造り変える働きによって、わたしたちは、キリストの行動する器、キリストが乗るもの、キリストの「車」となります。それは、キリストが

キリストのからだの中で、キリストのからだのために行動するためです――参照、Ⅱコリント 2:12-17。

B．わたしたちは神聖な三一をもって再建造されて、わたしたちの外側の構造は、復活し昇天したイエスの人性となり、わたしたちの内側の装飾は、主に対するわたしたちの愛となります――雅 3:9-10：

1．わたしたちのソロモン王としてのキリストは、わたしたちをご自身のための輿とします。わたしたちの責任はただ、わたしたちの愛を彼にささげ、わたしたち自身を喜んで彼にささげることです――ヨハネ 21:15-17．詩 110:3。

2．わたしたちの内なる存在は、「愛で縫い取られる」べきです（雅 3:10）。主を愛することは、キリストをわたしたちの人性とする領域の中にわたしたちを保ち、彼の愛情が押し迫る中でわたしたちの人性を保護します――Ⅱコリント 5:14。

C．わたしたちが個人的で、愛情深い、私的で、霊的な方法で主を愛することを通して、わたしたちの天然の存在は取り壊されます。またわたしたちはその霊の支配の中でキリストをわたしたちの王とするとき、御子キリストの贖う死（銀で造られた支柱）、父なる神の神聖な性質（基）、わたしたちの内側で支配する命を与える霊（紫色の布の座席）をもって造り直されつつあります――雅 3:10．参照、ローマ 8:28-29．Ⅱコリント 4:16-18。

Ⅳ．わたしたちは復活の中の新創造として昇天の中で生きることを通して、キリストの満足のための彼の私的な園となります――雅 4:10-15：

A．「わが妹、わが花嫁よ、あなたの愛は何と麗しいことか！　あなたの愛はぶどう酒に何とまさり、あなたの香油の香りはすべての香料に何とまさっていることか！」――10 節：

1．追い求める者は、主の愛がぶどう酒に「まさっている」と言いますが、主は、追い求める者の愛がぶどう酒よりも「はるかにまさっている」と言います。わたしたちは主の愛を宝としますが、わたしたちに対する彼の愛がどれほど尊いかを把握することはできません。この事は、わたしたちを愛することにおいてさえ、彼が首位を得ていることを示しています――参照、雅 1:2．ローマ 8:37．Ⅱコリント 5:14。

2．追い求める者は主を愛することを通して、その霊で浸透され、その霊に服従することにおいてその霊によって形づくられ、キリストの香りを放ち、またキリストの香りとなります――雅 4:10 後半，11 後半．ヨハネ 12:3．Ⅱコリント 2:15。

B．「わが花嫁よ、あなたの唇は蜂蜜をしたたらせ、あなたの舌の下には蜜と乳がある」――雅 4:11 前半：

1．乳と蜜は、動物の命と植物の命とのミングリングであり、キリストの命の二つの面、すなわち贖う面と生み出す面です――申 8:8．32:13-14．ヨハネ 1:29．12:24．マタイ 26:26-28。

2．特に、わたしたちが霊の中で弱く、主に来て彼を経験し適用するとき、わたしたちは主が乳と蜜であること、すなわちキリストの命の豊富と甘さを感じます――Ⅱコリント 12:9-10。

3．蜜は打ちひしがれた人を回復し、乳は新しい人を養います。追い求める者は自分の内側に非常に多くの豊富を蓄えてきたので、食物は彼女の舌の下にあるかのようであり、彼女は必要のある人にいつでも分与することができます――イザヤ 50:4．

エペソ 4:29．詩 45:1-2。

4．この甘さは、一晩で生み出されるものではなく、長い時間をかけて集めること、内側の活動、注意深く蓄えることから生じます――参照、出 29:30．詩 92:13-14。

Ⅴ．「わが妹、わが花嫁は、閉じられた園、閉じられた泉、封じられた源泉である……園の源泉、生ける水の井戸、レバノンからの流れである」――雅 4:12，15：

A．主を愛し追い求める者は、彼女の霊的な進歩のこの時点で、キリストの私的な満足のための園となりました。彼女は開かれた園ではなく、閉じられた園、封じられた園です。彼女が持っているすべては、究極的には彼女の愛する方の喜びのためのものであって、他のだれのためのものでもありません：

1．もし信者たちがもう少し閉じていて、さらに堅く封じているなら、彼らの働きはさらに優勢になるでしょう。どうか主がわたしたちに恵みを賜わり、十字架を通してわたしたちの中でさらに深い働きをしてくださいますように。それは、わたしたちが深く根を下ろし、「ひそかに」隠された生活をして、神の要求を満たし、彼の心を満足させるためです――マタイ 6:6．13:20-21。

2．召会生活のためのクリスチャン生活は、深みのある生活、すなわち、「下に根を張り、上に向かって実を結ぶ」ことができる生活です――イザヤ 37:31。

B．「エホバ・神は東のほうのエデンに園を植えられた．そして彼は形づくった人をそこに置かれた」（創 2:8）。聖書によれば、園は神がまさに最初に考えておられたものです。「エデン」は「楽しみ」を意味しており、神が人を喜ばせ、満足させ、幸いにしたいということを示しています。

C．召会生活は神の園、神の農場であり、それによってわたしたちは神の増し加わりをもって成長し、神の豊富をもって造り変えられて、神の建物となることができます――8 節．コロサイ 1:10．2:19．Ⅰコリント 3:9．啓 22:1-2．参照、出 25:31-32。

D．神は人を園に置いて、「それを耕させ、それを見張らせられた」のです――創 2:15：

1．人が地を耕すことは、命、特に命の木が成長して、神の定められた御旨の第一の面（人が神のかたちをもって神を表現すること）を成就するためです。地を耕すとは、わたしたちの心を対処して、それをキリストが成長することのできる良い地とすることです――創 1:26 前半．マタイ 13:3-23。

2．人が地を見張ることは、園を神の敵から保護して、神の定められた御旨の第二の面（人が神の権威によってサタンを対処すること）を成就するためです。地を見張るとは、知識の木、死の木としてのサタンに、何の隙も与えないことです――創 1:26 後半．Ⅱコリント 5:4．11:3．Ⅰコリント 15:26．参照、レビ 5:2。

E．わたしたちがキリストを享受するのは、キリストの享受と満足のためです。主がわたしたちにとってすべてであるのは、彼がわたしたちからのすべてを享受することができるためです――雅 1:12-14．4:12-14．5:1。

F．この園には、源泉と生ける水の井戸があります。父なる神は源泉であり、御子なる神は井戸であり、霊なる神は流れる水流であって、それはわたしたちが流れる三一の神を享受して、新エルサレムとなるためです――雅 4:15．ヨハネ 4:14 後半。

G．「北風よ、目覚めよ．南風よ、来たれ！　わたしの園に吹き、その香りを漂わせよ」――雅 4:16 前半：

1．北風（冷たく、厳しく、苦々しく、困難なもの）と南風（温かく、穏やかで、新鮮

で、喜ばしいもの）は、主が信者たちを訓練して、ご自身を彼らの満ち足りる秘訣として享受させるために用いる、二つの異なる環境です――ピリピ 4:11-13，5-7．1:20。

２．主を追い求める者は、すべての問題が外側からではなく、内側からやって来ることを認識しています。彼女は、三一の神の臨在としてのその霊で満たされている限り、いかなる環境の中でも喜んでキリストを生き、表現することができることを知っています。

©2026 Living Stream Ministry